

宮城骨髄バンク理事として、ドナー登録啓蒙活動のボランティアを続ける佐藤幸子さん。「ドナー登録で人の命を簡単に助けられるのだということを、皆さんに知ってほしい」と語ります。

「女性はいまを温かく照らす太陽に」

自宅から毎日4キロを自転車ですべて通いました

菅原 佐藤さんは、巨理町ご出身ですね。

佐藤 はい、長瀬の農家の三女として生まれました。

菅原 宮城学院中高に進学されましたが、通学が大変だったでしょう。

佐藤 私の時は宮城学院に進学したのは私一人だったんです。毎日、自宅からJR巨理駅までの4キロの道のりを、毎日、自転車を通ったのですが、とても楽しかったことを覚えていてます。

菅原 宮城学院に進学したキッカケは何だったのですか。

佐藤 父は農協組合理事などの仕事もしていましたが、いつも教育の大切さを話し、勉強したければ、いつでも行きたい学校を教えなさいと言



菅原 裕典 すがわら・ひろのり

1960年宮城県塩釜市生まれ。83年東北学院大学経済学部経済学科卒業。83年名古屋・中京葬儀社入社。85年3月、父・清一とすがわら葬儀社設立。1991年、(株)すがわら葬儀社の組織変更。2000年エボクセンだいで設立。2001年より(株)すがわら葬儀社代表取締役。2001年せんだい泉エフエム放送取締役。2001年4月より社会福祉法人 無量壽会理事長就任。2010年(株)清月記に社名変更。2011年5月認定NPO法人JETOみやぎ理事長就任。2015年1月仙台市青葉区木町通「仙台迎賓館 承苑」運営。2015年7月、国際ロータリー第2520地区ガバナー就任。2018年6月(一社)宮城骨髄バンク理事長

われていました。それで私からぜひ行かせてほしいと。

菅原 宮城学院では、聖書を読んだり説教を聞いたたりする教えの中にとっても素晴らしいことがあり、自然と頭と体に染みこみます。普通の学校では決して経験することができませんね。

佐藤 学校で教えられる宗教的教えもそうですが、黙



中学校の東京修学旅行で

待して無になることの大切さも知りました。そして様々な勉強と体験もできました。今でも両親に感謝しています。

菅原 どのような思い出がありますか。

佐藤 中学では最初、ソフトテニス部に入ったのですが、通学と部活で疲れたせいか食事ができなくなり、かなり痩せてきたのです。それを心配した先生から今は体を作るときなのだからと言われ、文化部に入り直しました。でも、高校に進学してからは、地元の先輩から誘われて器械体操部に入りま



七五三の時の家族写真

した。私、宙返りとか、ドキッとすることが好きなんです。バンジージャンプもやったことがあります。

骨髄ドナーになったことに感謝しています

菅原 ところで、宮城骨髄バンクの活動をやろうと思ったキッカケは何だったのですか。

佐藤 私、骨髄の提供者なんです。以前、人の命をこんなに簡単に助けることができるのだということを知り、自分が生きてうちに人を助けられる。健康が当たり前だと思っていたのに、突然病は訪れる。その時どうするか、皆で助け合うのが人間社会ではないかと思ったのがキッカ



ベガルタ仙台での啓発・募金活動



2018年12月23日のサンタパレードでの啓発活動

佐藤 その時は問い合わせが多く来ましたが、その時だけなのです。

菅原 18年6月から宮城骨髄バンクの一員として活動をサポートしていますが、もっと呼びかけが必要ですね。

佐藤 ドナー提供登録の活動は、仙台市内では、アエル日赤献血ルーム、仙台三越前の青葉献血ルーム、また献血バスなどで呼びかけています

が、なかなか市民に浸透していません。活動にはスタッフの交通費や食費、チラシ代などが必要で、募金や寄付金をお願いしています。啓発と登録活

動を強化していきます。そして、将来的には財団法人としての活動を目指しています。

菅原 これからの女性のためにメッセージを。

佐藤 健康でいられることに感謝し、人を思いやる心を忘れず、女性はやほいいつも明るく笑顔を絶やすことなく、まわりを照らし続ける太陽であってほしい。そして未来に続く子どもたちを大きな気持ちで大切に育ててほしいと思います。

菅原 ありがとうございます。今後もご活躍を期待しております。



佐藤 幸子 さん
さとう・こうこ

●昭和29年(1954年)10月30日、父・小山繁寿氏(大正2年生)と母・やよえさん(大正4年生)の4人兄弟の3女として、巨理町長瀬に生まれる。64歳。

●巨理町立吉田小学校から宮城学院中高卒業後、日本興業銀行に入社。支店長秘書、総務、人事などを担当した。高校時代は、器械体操部に所属、活躍する。昭和53年4月に銀行を退社、5月に製薬会社に勤務していた佐藤勝己氏(昭和28年生まれ、東北学院大学卒)と結婚。

●結婚後は、東京、横浜、仙台、札幌、福岡などに一緒に転勤生活を送る。長女の真理、長男の由典を育てる。現在孫2人。平成13年から仙台法務局名取出張所に勤務、窓口業務に携わる。

●一般社団法人宮城骨髄バンクの前身組織の、宮城骨髄バンク登録推進協議会の会員として活動し続け、平成29年の一般社団法人化とともに、理事に就任。

一乃庵 ichinoan

特選 おせち

お問い合わせフリーダイヤル <http://ichinoan.jp/>

0120-08-1151